

2023
3.1
No.145

あまなんぶ



海部南部消防署



春季全国火災予防運動実施中!

3月1日(水)~7日(火)



令和4年度 全国統一防火標語

お出かけは マスク戸締り 火の用心

海部南部消防組合

検索

click

発行 海部南部消防本部 愛知県海部郡飛島村大宝五丁目182番地 ☎(0567)52-0119



令和4年度 愛知県警防技術交換会

令和5年1月19日に名古屋市消防学校で愛知県警防技術交換会が開催されました。

愛知県内の消防本部が警防活動に必要な技術の向上を図ることを目的として、各消防本部から代表3名1組の全19組が出場しました。

訓練内容は、空気呼吸器の着脱から始まり、放水、高所への進入、障害物の切断、要救助者の救出を一連の流れで行い、タイムと正確性を競いました。

今後も警防技術の向上を目指し、より一層訓練に励んでいきたいと思ひます。



救急技術発表会

海部南部消防署で令和4年12月19日に救急技術発表会を開催しました。

この発表会は、救急隊の技術・知識の向上及び連携の強化を目的として、様々な救急現場の想定で署内の救急隊が全9隊参加しました。

各救急隊の活動発表後に海南病院の医師、看護師からアドバイスをいただき、非常に有意義な内容となりました。

地域住民の皆様の期待に応えられるように、これからも質の高い訓練を重ねていきます。



海南病院研修医 救急車同乗実習

海南病院の救命救急センターの医師との話し合いの中で、研修中の医師から「病院到着前の救急現場を経験することで救急救命士や救急隊員の業務を理解し、互いの役割についての相互理解と協力を深めたい!」という意見をいただき、今年度から救急車同乗実習をはじめました。

実習内容は消防署の一日の流れを体験してもらい外傷の救急訓練を行いながら、出動があれば研修医の方にも救急車に同乗してもらいました。

実習を行った研修医から「今回のような実習はとても大切で、より良い救急の連携を図るためには必要だと思います」と体験談があり、私たち海部南部消防も病院の医師に現場を知っていただく非常に良い機会となりました。



愛知県消防学校校友会 体力錬成競技会

令和4年11月22日(火)に庄内緑地公園で愛知県消防学校校友会体力錬成競技会が開催されました。

今年度は、新たにユニフォームを更新し、選手はモチベーションを上げて競技会に参加することができました。

競技会当日は、天候に恵まれ、走るには気持ちのよい日となり、選手は日頃の練習の成果を100%発揮することができました。当組合は、2チーム参加し51チーム中、17位と36位の結果となりました。来年度も上位入賞を目指して頑張ります!



文化財防火デー

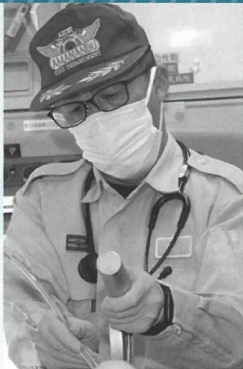
文化財を火災、震災その他の災害から守るとともに、全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財愛護に関する意識の高揚を図る目的で、毎年1月26日を「文化財防火デー」と定めています。



服部家住宅での消火訓練の様子

地域の安全のために大事な訓練の積み重ね

そもそも救急救命士ってどんな仕事?



119番通報して救急車を呼んだ時に、現場には救急救命士と呼ばれる人が来ます。救急救命士は医師の指示のもと、救急救命士にしかできない様々な救急救命処置を行うことができます。

救急救命士は国家資格として、統一された資格ですが、愛知県では行える処置により4つの救急救命士に分けられ、それぞれに教育課程を設けてより高度に運用しています。

その資格内容を見ていきましょう。

気管挿管救急救命士

気道の閉塞が疑われるときに気道に挿管ができる

処置拡大救急救命士

心肺停止前傷病者への点滴及び
血糖測定・点滴を実施してのブドウ糖投与

薬剤投与救急救命士

点滴を実施してのアドレナリン投与

包括救急救命士

上気道デバイスの挿入
除細動



救急の豆知識!

テーマ

アナフィラキシーとは

アナフィラキシーとは、数分から数時間以内に全身や臓器にあらわれるアレルギー症状のことです。

起こる原因としては、主にアレルギー原因物質に触れる、食べる、飲む、吸い込むことで引き起こされます。

皮膚	じんましん、かゆみ、皮膚の赤み
粘膜	くちびる・舌・口の中の腫れ
呼吸器	息切れ、せき、呼吸音がゼーゼー、ヒューヒューする
消化器	腹痛、嘔吐
神経	軽度の頭痛、手足のしびれ、耳鳴り、めまい
全身症状	熱感、冷感、力が入らない



こんなときは!?
呼んでください救急車!!



呼吸ができなくなるほどの息切れをしている場合

嘔吐・下痢を繰り返している場合

さらに血圧の低下・意識障害が起きている場合は危険な状態のためすぐに救急車を呼んでください。

この手で救えるあなたの命

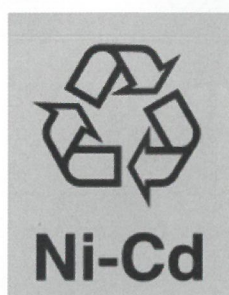
みなさん
ご協力を!

ごみ収集車やごみ処理施設での 火災事故が多発しています!

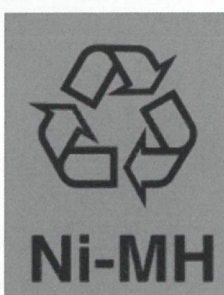
海部南部消防署管内で、ごみ収集車やごみ処理施設での発煙や火災事故が頻発しています。その原因の多くが、カセットガスボンベやリチウムイオン電池を内蔵した小型家電と考えられています。

カセットガスボンベや小型家電は、過度な力が加わると、発煙や発火するおそれがあります。

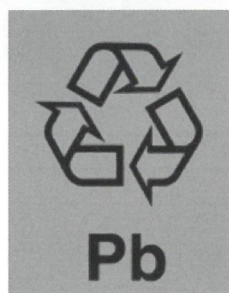
カセットガスボンベや小型家電を正しく分別せず、「不燃ごみ」などに混入して出してしまうと、ごみ収集車やごみ処理施設での火災事故に繋がるため大変危険です。下記マークがついている小型家電は、家電量販店やホームセンター等の排出協力店にお持ちいただくか、ごみとして出すときには、市村のルールに従って出すようにお願いします。



Ni-Cd



Ni-MH



Pb



Li-ion



写真 小型二次電池のリサイクル (METI/経済産業省)

発火したリチウムイオン電池と破裂したカセットガスボンベ

防火教室 ～子供から親へ、防火の意識～

保育所や幼稚園等の園児を対象に毎年、防火教室を開催しています。

この防火教室では園児に「防火」の意識をつけてもらうため、火遊びの危険性及び身近に潜む火災危険についての講話を行い、「火事の恐ろしさ」を学んでいただきました。自宅に帰って保護者と一緒に火事にならないように、考えるきっかけをすることでご家庭の防火意識の向上を図っています。防火教室では、消防車両からの放水を見学したり、写真撮影等も行っています。



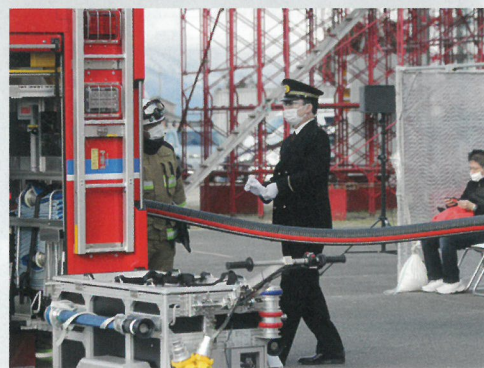
救急車の適正利用に御協力お願いします。

令和5年 海部南部消防組合 出初式

令和5年1月5日(木)、出初式を開催しました。
消防職員の強固な団結と士気を披露するため
「通常点検」「資機材展示」「はしご乗り」「一斉放水」
を行いました。

職務遂行の決意を新たに職員一同、これからも
弥富市・飛島村の安心・安全を守っていきます。

詳しい様子はこちらからご覧いただけます▶



功績を称え感謝状を贈りました

■発生日時：令和5年1月1日(日)午後0時50分頃

■発生場所：弥富市内

1月の寒空の中、84歳の男性が意識をなくし倒れているのを複数の方が発見し、迅速な通報と適切な行動によって、心肺停止状態から社会復帰するに至りました。

一連の功績を称え当組合から感謝状を贈呈させていただきました。



■発生日時：令和5年1月10日(火)

■発生場所：弥富市内の事業所

27歳男性が心肺停止状態になったところ、現場に居合わせた3名の方の迅速な行動と絶え間ない胸骨圧迫によって、社会復帰に至りました。

消防署長から、「皆さんの勇気ある行動が、命を助けることにつながりました。」と感謝の言葉を伝えるとともに、感謝状を贈呈させていただきました。

